

(漢字は常用漢字になおし、ルビは難読文字以外省略、活用語の「っ」は「っ」になおし、適宜句読点を補った。また、判読不能だった文字は□で表した)

関西の浪花節

金城生

▲浪花節の起源は甚だ空漠たるもので、到底完全には調べられないが、今や、正確に近い根拠から取って調べてみると、今より百五十年程以前に、公卿の零落した放蕩ものが、當時非人同様に目されて居た願忍坊の仲間に陥ったが、公卿の果てとか普通の願忍坊のやうに、人の門に立って一芸を演じる事を知らない。詮方なく僅かに覚えて居た長歌を、節面白く謡って、その調子を取る為に、竹の先へ穴の明いた錢を付けて、鳴らしながら「月にむら雲花に風」「咲いた桜にナゼ駒繫ぐ」「恋の痴話文風に引かれ」等の長歌連歌を謡って居た。さればその頃は長歌連歌と云って居たが、夫れがダンダンと転訛して、遂にはチョンガレンとなつて、茲にチョンガレンが生まれ出でたのである。之れが抑も浪花節の根本となつたのである。

▲當時此のチョンガレンは大に持て囃されて、同じ願忍の仲間が我れも／＼と語り出した。その中に浪花安吉といふものが、頗る巧に節を付けて大に賞賛された所から、忽ち弟子が出来て、浪花秀吉(足なへの秀)と云ふ、元は武家の生れの果が、此の願忍の社会へ墮落したもので、當時で多少教養のあるものが出た。

▲夫れが為チョンガレンは、稍高尚になつて、全く願忍の手から離れて、一の大道芸人となつた。此の秀吉の弟子に川本辰三、吉田岩吉(浪花節吉田家の祖で、竹の子の岩吉と云つたもの)が出たが、イカに高尚になつたとは云ふものゝ、此の頃は本名を呼ぶものは一人もなく、何れも白瓜の竹とか、赤檜の権とか鉄砲の安、杓子の長とか、綽名のみを呼んで居た。随つてチョンガレンを語るにも頗る下卑たもので、向ふ鉢巻片肌脱ぎで尻を捲つて語り出すと云ふ風で、此の弊風は遂に七八年以前まで浪花節社会に遺つて居た。

▲夫れより漸々進化して不完全ながらも床几を据ゑ、繁華な土地で多くの人を集めて興行して居た。大阪では今の天満天神の国光席の処と千日前、京都では新京極の逆れんげの境内等が定興行場であつた。

▲此の頃には吉川久米吉、吉田虎吉、小雀定吉、都三光(東京の初代辰丸、二代辰丸の師)吉川竹丸等が出て、従来の竹の先へ錢を付けて拍子を取つて居たものを改良して、三味線を以て之に換へたが、此の時は極々卑しいもので、今日の如くセメとか四ツ又とかカシとか云ふものはなく、只上の方でツルテル／＼と下卑な調子で拍子を取つて居た

▲その後之を改良したのはホツコリの仙人と云ふ人であつたが、米山今八のやうに、下で

二から三へ這入る低い調子は出来ないで、関東派の三味線のやうに上の方で三から二へ這入って、高い調子を遣つて居た。夫れを更に改良して現今の低い調子を工夫したのは、広沢虎吉（盲人にて故人）であつた。

▲此の虎吉こそ実に現今の広沢家の祖で、本姓は豊田であるが、此の調子を工夫する為、今宮の広田神社へ神願をかけて、漸く取得した所から、広田の広と己れが三味線引であるから浄瑠璃語りの竹沢とか鶴沢とかいふ沢の字を取つて、広沢と命名した（即ち青年革新派創立者の広沢当昇の父）

▲現今流行して居る浪花節は何れも前の久米吉、音吉等より系統を引いて居て、今では吉田、吉川、広沢、京山、宮川、岡本、中川、藤川、浪花等に別れて居た。又之を統括するものは

▲親友派、青年派、燕派、吉田派、吉川派、京山派と別れて居るが、之は系統や所属の派で別けたのではなく、興行の団体として分離されて居て、親友派は岡本鶴治、青年派は広沢当昇、吉田派は吉田久丸、京山派は京山八重山、燕派は全然貝祭文から変化したものゝ一派である。

▲又大阪と京都に在る浪花節の定席で、以上の派別けにされて居るものを挙げれば

▲親友派 広沢席（松島） 第一国光席（天満天神裏門） 愛進亭（千日前） 第三

広沢亭（天保町） 第二國光席（和泉町） 第三國光席（梅ヶ枝町） 第二愛進亭

（桃谷） 第三愛進亭（靱） 第二鶴の席（九条） 鶴の席（下福島） 亀甲館（西

野田） 玉の家（松島）

▲青年革新派 集寄席（千日前） 喜安亭（日本橋） 十六亭（西野田） □□館（難波）

第二富昇（天王寺 新□中）

▲燕派 燕丈亭（松島） 第二燕丈亭（西九条） 福竹亭（新町） 入舟亭（九条） 友楽亭

（三軒家） 初子亭（桜川町）

▲吉田派 吉川館（天満） 都亭（天神橋筋五丁目） 松井亭（北野）

▲吉川派 丸宝亭（木津） 虎の席（今宮） 二葉亭（西浜町）

▲京山派 丸市亭（木津） 琴平亭（千日前） 梅の席（広田） 東□席（東平野町）

▲中立派 八重山席（天満） 東雲亭（玉造） 松の席（生玉町） 小桜館（東野田） 稻荷

席（前垂島） 稻荷席（赤手拭） 東雲席（天王寺） 桃谷席（北桃谷） （以上大阪）

▲親友派 第一福真亭（新京極） 梅の家（本町） 第二広沢亭（千本） 小燕席（亦□）

梅の家（大宮）

▲青年革新派 当昇亭（新京極） 菊の家（堀川） 駒の家（五条） 末広亭（伏見） □□

亭（草津）

▲中立派 長久亭（千本） □の家（寺の内） 竹丸席（仏光寺） 丸の家（台所門） □の

家（白川橋） （以上京都）

